

### 2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月11日

上場会社名 乾汽船株式会社 上場取引所 東

コード番号 9308 URL <a href="https://www.inui.co.jp/">https://www.inui.co.jp/</a>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)乾 康之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 一井 聡 TEL 03-5548-8613

半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月8日

決算補足説明資料作成の有無:有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益	益	経常利益	益	親会社株主にり 中間純利	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	15, 692	△6.0	△71	_	△132	_	△9	-
2025年3月期中間期	16, 696	11.7	2, 824	231. 3	2, 709	146. 9	3, 261	987. 7

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 525百万円 (△83.8%) 2025年3月期中間期 3,239百万円 (310.3%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△0. 37	_
2025年3月期中間期	129. 89	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2026年3月期中間期	75, 273	35, 701	47. 4	1, 417. 75
2025年3月期	74, 903	36, 875	49. 2	1, 467. 24

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 35,701百万円 2025年3月期 36,875百万円

#### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円銭	円 銭	円銭	円銭	円銭	
2025年3月期	_	6. 00	_	70.00	76. 00	
2026年3月期	_	3. 00				
2026年3月期(予想)			-	3. 79	6. 79	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:有

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上流	高	営業和	刂益	経常和	山益	親会社株主 する当期:		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32, 340	1.8	810	△77.8	596	△84.5	570	△88. 6	22. 64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:有

#### ※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更:無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

③ 会計上の見積りの変更

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	26, 072, 960株	2025年3月期	26, 072, 960株
2026年3月期中間期	891, 385株	2025年3月期	940, 532株
2026年3月期中間期	25, 150, 647株	2025年3月期中間期	25, 110, 919株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

:無

#### (決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年11月21日(金)に、機関投資家向けのオンライン決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明会内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

# ○添付資料の目次

1.	. 経営成績等の概況	2
	(1) 当中間期の経営成績の概況	2
	(2) 当中間期の財政状態の概況	2
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 中間連結貸借対照表	4
	(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
	中間連結損益計算書	6
	中間連結包括利益計算書	7
	(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
	(セグメント情報等の注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
	(継続企業の前提に関する注記)	10

#### 1. 経営成績等の概況

#### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループの業績は、外航海運事業におけるハンディ船市況の下落や為替の影響等により、売上高は前年同期比1,003百万円減収(△6.0%)の15,692百万円、営業損益は前年同期比2,896百万円減益の71百万円の損失、経常損益は前年同期比2,841百万円減益の132百万円の損失、親会社株主に帰属する中間純損益は前年同期比3,271百万円減益の9百万円の損失となりました。

当社グループのセグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### ①外航海運事業 (ロジスティクス)

外航海運事業におけるハンディ船市況は、前年同期においては、パナマ運河の通航制限や中東 情勢の緊迫化等を背景に高水準で推移しておりましたが、当中間連結会計期間には、国際的な通 商環境の不透明感や心理的要因の影響もあり、前年同期に比して軟調な市況が続く結果となりま した。

なお、当中間連結会計期間における当社グループの平均為替レートは¥146.05/対US \$ (前年同期は¥153.70) となりました。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、売上高は前年同期比891百万円減収( $\triangle$ 7.1%)の11,732百万円、セグメント損益は前年同期比2,873百万円減益の775百万円の損失となりました。

### ②倉庫・運送事業 (ロジスティクス)

物流業界におきましては、貨物保管残高は前年同期を上回る水準で推移し、貨物取扱量は前年同期をやや上回る水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、普通倉庫における取扱高の増加や連結子会社の引越業における取扱高が増加したことにより、売上高は前年同期比79百万円増収(+4.2%)の1,989百万円、セグメント利益は前年同期比44百万円増益(+29.9%)の193百万円となりました。

#### ③不動産事業

都心部の賃貸オフィスビル市況は、市場全体では堅調に推移しておりますが、都心湾岸部においては、相次ぐ再開発によって供給過剰の傾向が見られます。一方、東京23区の賃貸マンション市況については引き続き堅調に推移しております。

当社グループが賃貸物件を所有する月島・勝どきエリアは都心および駅からのアクセスに優れた好立地に位置しており、市況は好調に推移しております。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、中期経営計画に掲げるプラザ勝どき(1987年12月竣工)の再開発計画に伴い、2025年3月にプラザ勝どきを閉館したことにより、売上高は前年同期比192百万円減収( $\triangle$ 8.9%)の1,970百万円、セグメント利益は前年同期比84百万円減益( $\triangle$ 7.9%)の987百万円となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当中間連結会計期間末における総資産は、有形固定資産や投資有価証券の増加、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末比370百万円増の75,273百万円となりました。負債は、借入金の増加等により前連結会計年度末比1,544百万円増の39,572百万円となりました。純資産は、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末比1,174百万円減の35,701百万円となりました。

この結果、自己資本比率は49.2%から47.4%になりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して2,070百万円減少し、16,582百万円となりました。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における営業活動の結果として獲得した資金は、1,835百万円(前年同期比68.0%減)となりました。これは主として、減価償却費1,929百万円、法人税等の支払額437百万円等によるものです。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における投資活動の結果として使用した資金は、4,179百万円(前年同期は368百万円の資金の使用)となりました。これは主として、固定資産の取得による支出3,683百万円等によるものです。

### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における財務活動の結果として獲得した資金は、313百万円(前年同期比562.7%増)となりました。これは主として、長期借入れによる収入2,804百万円、長期借入金の返済による支出712百万円、配当金の支払額1,777百万円等によるものです。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期(2026年3月期)の連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の実績及び最近の業績動向等を踏まえ、2025年8月8日に公表した前回発表予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2026年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、外航海運事業における為替、燃料油価格の予想前提は以下のとおりです。

	当中間連結会計期間実績 (自 2025年4月1日	第3~4四半期前提 (自 2025年10月1日
	至 2025年9月30日)	至 2026年3月31日)
為替レート(円/1米ドル)	1 4 6. 0 5	151.00
燃料油価格(米ドル/MT)	530.15	5 1 4. 9 7

# 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

# (1)中間連結貸借対照表

前連結会計 (2025年3月 資産の部 流動資産 現金及び預金 営業未収金及び契約資産 有価証券 繰延及び前払費用 貯蔵品 その他 貸倒引当金 流動資産合計	十年度 月31日) 19,001 1,497 — 723 1,268 2,019 △0	当中間連結会計期間 (2025年9月30日) 16,964 1,032 500 632 1,404 1,841 △0
流動資産 現金及び預金 営業未収金及び契約資産 有価証券 繰延及び前払費用 貯蔵品 その他 貸倒引当金	1, 497 — 723 1, 268 2, 019	1, 032 500 632 1, 404 1, 841
現金及び預金 営業未収金及び契約資産 有価証券 繰延及び前払費用 貯蔵品 その他 貸倒引当金	1, 497 — 723 1, 268 2, 019	1, 032 500 632 1, 404 1, 841
営業未収金及び契約資産 有価証券 繰延及び前払費用 貯蔵品 その他 貸倒引当金	1, 497 — 723 1, 268 2, 019	1, 032 500 632 1, 404 1, 841
有価証券 繰延及び前払費用 貯蔵品 その他 貸倒引当金	723 1, 268 2, 019	500 632 1, 404 1, 841
繰延及び前払費用 貯蔵品 その他 貸倒引当金	1, 268 2, 019	632 1, 404 1, 841
貯蔵品 その他 貸倒引当金	1, 268 2, 019	1, 404 1, 841
その他 貸倒引当金	2, 019	1,841
貸倒引当金		
	△0	Λ Λ
流動資産会計		$\triangle 0$
(MA) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (	24, 511	22, 375
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	23, 316	31, 107
建物及び構築物(純額)	8, 358	8, 171
土地	1, 133	1, 133
信託建物及び信託構築物(純額)	3, 165	3, 096
信託土地	204	204
建設仮勘定	6, 590	698
その他(純額)	548	551
有形固定資産合計	43, 317	44, 963
無形固定資產	87	71
投資その他の資産		
投資有価証券	5, 192	6, 067
長期貸付金	1, 119	1, 117
その他	683	686
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	6, 987	7, 863
固定資産合計	50, 392	52, 898
資産合計	74, 903	75, 273

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2, 440	2, 156
短期借入金	2,710	2,710
1年内返済予定の長期借入金	5, 713	5, 673
未払法人税等	419	12
契約負債	282	572
賞与引当金	97	105
その他	666	390
流動負債合計	12, 328	11,621
固定負債		
長期借入金	21,724	23, 804
繰延税金負債	728	852
退職給付に係る負債	76	79
受入保証金	1, 342	1,370
特別修繕引当金	603	623
その他	1, 222	1, 221
固定負債合計	25, 699	27, 951
負債合計	38, 028	39, 572
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 767	2,767
資本剰余金	11,674	11,685
利益剰余金	21, 351	19, 582
自己株式	△919	△871
株主資本合計	34, 873	33, 164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1, 943	2, 537
繰延ヘッジ損益	58	$\triangle 0$
その他の包括利益累計額合計	2,001	2, 536
純資産合計	36, 875	35, 701
負債純資産合計	74, 903	75, 273

### (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 (中間連結損益計算書)

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	16, 696	15, 692
売上原価	13, 108	14, 999
売上総利益	3, 588	693
販売費及び一般管理費	763	765
営業利益又は営業損失(△)	2, 824	△71
営業外収益		
受取利息	150	119
受取配当金	64	86
為替差益	_	91
その他	21	43
営業外収益合計	235	340
営業外費用		
支払利息	192	349
為替差損	89	_
その他	70	51
営業外費用合計	351	401
経常利益又は経常損失 (△)	2, 709	△132
特別利益		
固定資産売却益	1, 020	0
特別利益合計	1, 020	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損 失 (△)	3, 729	△132
法人税、住民税及び事業税	462	8
法人税等調整額	4	△131
法人税等合計	467	△123
ー 中間純利益又は中間純損失 (△)	3, 261	△9
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	3, 261	$\triangle 9$

# (中間連結包括利益計算書)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	3, 261	$\triangle 9$
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92	593
繰延ヘッジ損益	△114	△58
その他の包括利益合計	△21	535
中間包括利益	3, 239	525
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3, 239	525
非支配株主に係る中間包括利益	_	_

# (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	:	(単位:日万円)		
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純 損失(△)	3, 729	△132		
減価償却費	1, 566	1,929		
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2	2		
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	7		
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	24	19		
受取利息及び受取配当金	△214	△205		
支払利息	192	349		
為替差損益(△は益)	29	△8		
固定資産売却損益(△は益)	△1,020	$\triangle 0$		
売上債権の増減額(△は増加)	590	355		
契約資産の増減額(△は増加)	△257	109		
繰延及び前払費用の増減額(△は増加)	281	149		
貯蔵品の増減額(△は増加)	191	△136		
仕入債務の増減額(△は減少)	△141	△310		
契約負債の増減額 (△は減少)	△212	290		
未払費用の増減額(△は減少)	△21	△37		
未払又は未収消費税等の増減額	△35	59		
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	32	27		
その他	148	1		
小計	4, 888	2, 471		
利息及び配当金の受取額	193	202		
利息の支払額	△193	△401		
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	849	△437		
営業活動によるキャッシュ・フロー	5, 738	1, 835		
投資活動によるキャッシュ・フロー				
固定資産の取得による支出	△1, 386	△3, 683		
固定資産の売却による収入	1, 054	0		
有価証券の取得による支出	<del>-</del>	△500		
投資有価証券の取得による支出	$\triangle 50$	_		
その他	12	4		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△368	△4, 179		
財務活動によるキャッシュ・フロー				
長期借入れによる収入	5, 307	2, 804		
長期借入金の返済による支出	$\triangle 4,973$	$\triangle 712$		
自己株式の取得による支出	_	$\triangle 0$		
配当金の支払額	△283	$\triangle 1,777$		
その他	$\triangle 2$	△1		
財務活動によるキャッシュ・フロー	47	313		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△446	△39		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4, 970	△2, 070		
現金及び現金同等物の期首残高	13, 980	18, 652		
現金及び現金同等物の中間期末残高	18, 950	16, 582		

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

		報告セク	ブメント			
	ロジスラ	ティクス	不動産 事業		調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	12, 623	1, 910	2, 162	16, 696	_	16, 696
セグメント間の売上高又 は振替高		_	15	15	△15	_
# <u>+</u>	12, 623	1, 910	2, 178	16, 712	△15	16, 696
セグメント利益	2, 098	148	1,072	3, 319	△494	2, 824

- (注) 1. セグメント利益の調整額△494百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△494百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - 2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- Ⅱ 当中間連結会計期間(自2025年4月1日 至2025年9月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				I BBN-4-61
ロジスラ	ティクス	不動産	助産	調整額 (注 1 )	中間連結 損益計算書 計上額
外航海運 事業	倉庫・運送 事業	事業		(注2)	
11, 732	1, 989	1, 970	15, 692	_	15, 692
	4	15	20	△20	_
11, 732	1, 994	1, 986	15, 713	△20	15, 692
△775	193	987	405	△477	△71
	外航海運 事業 11,732 — 11,732	ロジスティクス  外航海運 倉庫・運送 事業  11,732 1,989 - 4  11,732 1,994	ロジスティクス     不動産 事業       外航海運 事業     倉庫・運送 事業       11,732     1,989       1,970       -     4       11,732     1,994       1,986	ロジスティクス     不動産 事業     計       外航海運 事業     倉庫・運送 事業     事業     計       11,732     1,989     1,970     15,692       -     4     15     20       11,732     1,994     1,986     15,713	ロジスティクス     不動産事業     計     調整額(注1)       外航海運事業     倉庫・運送事業     事業     計     15,692     一       ー     4     15     20     △20       11,732     1,994     1,986     15,713     △20

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△477百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用 △477百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - 2. セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。